

防災の輪を広げよう

～北九州市民地域防災意識向上のために～

『自然災害と防災・減災』チーム

〈はじめに〉

日本では自然災害が多発している。私たちが住む北九州市の人口当たりの防災士認証登録者数が、政令指定都市間で最も少ないことが右表から分かり、北九州市民の地域防災・減災意識の向上を図ることは急務であると考えられる。

また、小中学生は防災意識を向上させるための様々な授業が行われている反面、高校生は年に数回の避難訓練のみという状況が推測され、高校生世代の防災・減災意識向上を図ることは、持続可能な社会の形成という観点からも大きな意義がある。

＜政令指定都市別の防災士認証登録者＞

政令指定都市	人数 (人)	割合 (%)	政令指定都市	人数 (人)	割合 (%)
1 仙台	2841	0.2606	11 岡山	696	0.09655
2 広島	2103	0.1753	12 名古屋	1937	0.08322
3 熊本	1195	0.1616	13 川崎	1145	0.07481
4 堺	1106	0.1336	14 千葉	660	0.06733
5 福岡	2054	0.129	15 大阪	1786	0.06518
6 静岡	801	0.1158	16 横浜	2343	0.0625
7 さいたま	1512	0.1154	17 浜松	449	0.05671
8 新潟	893	0.1121	18 札幌	972	0.04934
9 神戸	1590	0.1044	19 京都	546	0.03724
10 相模原	736	0.1018	20 北九州	343	0.03648

〔日本防災士機構〕（2020年）より作成

〈研究目的・方法〉

高校生が「防災・減災意識の向上のための啓発活動」を実施し、それに参加することで防災・減災意識の変化がみられるかを参与観察によって明らかにする。

〈啓発活動の内容〉

I 小学校啓発（昨年度）

実際に小学校へ出向き、体験型の「ぼうさい授業」を通して小学生に防災について授業を行った。自分の命は自分で守るということや、防災・減災の重要性を伝えることができた。

実施校：北九州市立一校・井堀・天籟寺・中原小学校



〈調査結果〉

変化の内容	人数
防災知識の向上	5
災害の身近さの実感	3
防災の輪を広げることの重要性	3
チームで協力することの大切さ	1
データの分析力	1

啓発活動に参加した全員が何らかの意識の変化があった。防災・減災に向けての活動に関わることで、防災について学ぶだけでなく、プレゼンスキルやデータ集計・分析など、技術面での成長がみられた。啓発活動を通して、自分自身の防災意識の向上だけでなく、多くの人に防災の重要性を伝えることができ、防災の輪を広げることにつながった。

〈考察〉

高校生が、主体的に活動に参加することで、防災・減災意識の向上を図ることができると考えられる。したがって、より多くの高校生が、防災・減災意識向上のための啓発活動に取り組むことにより、北九州市民の防災・減災意識の向上を図ることができ、「住み続けられるまちづくりを」につながると考えられる。

II 啓発ビデオの作成やオンライン交流会（今年度）

COVID-19の影響により、オンラインでの活動が主であった。動画を作成し、小学生、中学生・高校生、社会人に対して、防災・減災の啓発を行った。また、オンライン交流会では、被災した方のお話を伺ったり、他校や企業の人とパネルディスカッションをしたりした。高校生が主体的に防災を発信することの重要性を改めて実感した。



<https://ecolife-stage.org/eco>

〈課題・展望〉

昨年実施の「ぼうさい授業」などの啓発活動を通して、小学生に防災を身近に感じてもらい、日頃から備えておくことの大切さを伝え、それが保護者に伝わることで防災の輪を広げてきた。

今年度は、COVID-19の影響で対面での活動を行うことができず、オンラインを通しての活動が主になった。そのため、啓発活動の効果を肌で感じにくかった。しかし、様々な活動に制限がある中、そのような状況だからこそ実現できる、新しい研究・発表の形に随时挑戦でき、貴重な経験となった。

今後はより多くの高校生が「防災・減災意識向上のための啓発活動」に参加できる仕組みをつくることで、北九州市民の意識向上を図りたいと考えている。

また、日本だけでなく世界中の人々の防災・減災意識向上につながるような活動をしていきたいと考えている。まずは、3月に、台湾の高校生とオンラインでの国際交流をする予定であり、国を超えての活動を行う。

「Think Together, Think BOUSAI!!」をモットーに
SDGs



に向けて取り組んでいます。

第2回高校生 SDGs 選手権大会 ポスター発表部門

学校名	明治学園高等学校
発表タイトル	防災の輪を広げよう ～北九州市民地域防災意識向上のために～
設定した課題	北九州市民の防災意識の低さ
関連する SDGs のゴール・ターゲット	4. 質の高い教育をみんなに 11. 住み続けられるまちづくりを 17. パートナーシップで目標を達成しよう
ポスターの説明	北九州市の防災意識向上のために、小学校訪問やオンライン動画の作成、他校との交流会をした。 それらの活動を通して自分たちはどのように成長することができたのかアンケートを集計し、まとめた。 その結果から、活動の有効性を感じ、これからも活動を続けていく。
制作の意図や アピールポイントなど	表を用いることで、データ化して結果が伝わるような視覚効果を狙った。 また、ぼうさい授業を受けた小学生や私たちの中でそれぞれアンケートを行った。
苦勞した点	啓発活動やオンライン交流会などの活動が主なため、研究の進め方が難しく、目に見える形での成果があげにくかった。
その他(自由記載)	